

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	調布市子ども発達センター訪問支援サービス事業所		
○保護者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和7年3月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和7年3月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○訪問先施設評価実施期間	令和6年10月1日		～ 令和7年3月1日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5園	(回答数) 5園
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さんの行動を観察し、なぜそのような行動になっているのかを分析し、環境をふまえて、理由を説明できる。	・日々の職員間での情報共有や相談の中で、支援の可能性を広げられるようにしている。 ・保護者への説明等について、分かりやすいことばでお子さんの状況を共有するようにしている。	・お子さんに関わる全ての人が、お子さんの状況を把握しやすいようにわかりやすい説明に努める。
2	・担当職員の作業療法士の経験年数が平均15年以上であり、対応をわかりやすく、丁寧に説明できるため、的確な支援へとつなげられている。	・専門性を維持できるように、積極的な研修への参加や連携を行なっている。	・事業内での研修に限らず、事業所外での研修にも、可能な限り参加していく。

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内で、相談担当、訪問担当者、事務担当といった役割で連携しながら運営しており、相互でのチェックが円滑な運営へとつながっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業説明や請求事務などを、業務分担し、お互いに業務チェックをすることで、事業が滞りなく進められるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体制維持を継続し、円滑な運営を目指す。</li> </ul>
---	--	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問担当者は、保育所等訪問日以外は子ども発達センター内での他の事業に従事しているため、対象児のお休み等で保育所等訪問支援ができなかった場合の振替実施ができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども発達センター内での他の事業でも支援をすべき対象児は多く、振替実施を可能とするためには、人員の拡充と業務内容の見直しが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども発達センター内での他事業を利用するお子さんが減ることは考えにくく、公的施設としての役割を果たすためにも、事業の継続と人員の確保を目指していく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者によって、支援方法に違いがでることが予測され、ある一定の水準に達した支援を提案できているか、確認ができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都度の振り返りは、書面での報告や訪問担当職員間で共有はできているが、定期的な時間の確保はされていない。</li> <li>・園との連携が開始時のみとなっているため、途中での様子を確認することができていない現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書面での報告と職員間での共有に加えて、相談担当の職員が園に連絡を入れ、経過の確認を行なう等の連携を図る。担当職員により、適切な支援が行われているかどうかを、確認し、対象児にとって、より適切な支援となることを目指していく。</li> </ul>
3			

事業所名 調布市子ども発達センター訪問支援サービス事業所

公表日 令和 7 年 3 月 28 日

利用児童数 5名 回答数 5名

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	面談時において、プライバシーに配慮された環境が整えられていますか。	5	0	0	0	個室で面談があり問題なかった。	
	2	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	0	0	0	十分に説明を受けた。	
	3	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5	0	0	0	相談の上で日程を組んでいただいた。	
	4	支援全体を通して、関わる職員体制（職種や人数）は十分でしたか。	5	0	0	0	十分だった。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	1	0	0	子どもの状態に合わせた支援を受けることができた。	
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）（※1）が作成されていると思いますか。	4	1	0	0	子どもの発達状況に合わせた計画であった。	
	7	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向も踏まえ、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	0	保育園の状況も考慮した上で実現可能な支援内容になっていた。	
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0	支援計画に沿って個別性のある介入がされていると思う。	
	9	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0	訪問先の都合にも配慮した日程調整がされていた。	
	10	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0	説明があった。	
	11	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0	支援計画書を提示した上で説明があった。	
	12	事業所では、家族に対しての支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5	0	0	0	行われている。	

保護者への説明等	13	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	4	1	0	0	月2～3回の療育の中で十分に情報共有できている。	
	14	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0	月2～3回の療育の毎にアドバイスをいただいている。	
	15	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	1	0	0	職員の方による。 そう思う。	
	16	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制の整備がなされていると共に、事業所は迅速かつ適切に対応されていると思いますか。	4	1	0	0	職員の方による。 相談申入れに対しすぐに対応していただいているといつも感じている。	
	17	こどもと保護者との意思疎通や情報伝達のために、必要な配慮（筆談、声量の調整等）がなされていると思いますか。	4	1	0	0	まだ保護者との情報伝達が主だが子どもにとっても問題のない声かけがされている。	
	18	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4	1	0	0	実際に面談に同席し、相談等に適切に応じられている様子を見ることができた。	
	19	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5	0	0	0	しっかり話し合いが行われていた。	
	20	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4	1	0	0	毎回丁寧な説明があり、保育園側からの説明とも一致していた。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。（初回公表は、令和7年3月の予定です。）	2	0	0	3	まだ初回公表日になっていないため。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4	0	0	1	まだ公表日になっていないためわからないが、留意するという説明は受けている。	
非常時等の対応	23	事業所は、災害時の緊急対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	0	0	2	保育園内で支援を受けたため災害時の対応を事業所側がすることは特になかったと思う。	保育園内で災害に遭遇した場合、園の安全計画やマニュアルに則って、行動することを、契約時にしっかりと説明をしていこうと思います。
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1	安全面にも配慮した上で保育園側へのアドバイスがあった。	
	25	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5	0	0	0	よろこんで支援を受けることができていた。	
	26	事業所の支援に満足していますか。	27へ 4	ご意見へ 1	28へ 0	ご意見へ 0	「どちらでもない」「わからない」と答えた方 職員の方によるので何も言えない。	

満足度	27	26で「はい」と答えた方 具体的に満足した支援はどんな支援でしたか。	こどもへの関わり方	環境設定	集団参加を促す工夫	食事のすすめ方	子どもの特性理解について	活動内容の設定	その他										
			3	2	3	1	4	1	0										
満足度	28	26で「いいえ」と答えた方 十分でないと思った支援は具体的にどんなことでしたか。	こどもへの関わり方	環境設定	集団参加を促す工夫	食事のすすめ方	子どもの特性理解について	活動内容の設定	その他										
満足度	29	支援の前後において、個別支援計画に基づき、こどもの成長発達の変化を、数値で表すとしたらいくつですか。																	
		支援前と支援後の比較 (例：支援前1⇒支援後9の場合、数値8)		-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2		-1	0	1	2	3	4	5
												1	1		2			1	

事業所名

公表日 令和7年3月28日

調布市子ども発達センター訪問支援サービス事業所

利用施設数 5園 回収数 5園

チェック項目

はい

どちらとも  
いいない

いいえ

ご意見

ご意見を踏まえた対応

1

訪問支援担当者からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものでしたか。

項目2へ

5

0

項目3へ

0

センターでの様子や対応と照らし合わせた説明でとてもわかりやすかった。

2

右記の項目について、取りいれやすかったものを教えてください。（複数回答可）

こどもへの関わり方	環境設定	集団参加を促す工夫	食事のすすめ方	子どもの特性理解について	活動内容の設定	その他
4	2	1	2	5	1	1

本児へのご褒め

3

右記の項目について、取入れにくかったものを教えてください。（複数回答可）

こどもへの関わり方	環境設定	集団参加を促す工夫	食事のすすめ方	子どもの特性理解について	活動内容の設定	その他

4	訪問支援担当者の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	0	0	本児の特性に基づいた援助の仕方を具体的に教えてください大変わかりやすかった。話を伺うことで、園で行っていることが間違いでないことの確認ができ、保護者とも連携して細かい指導ができた。																																				
5	訪問支援担当者は、質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5	0	0	担任に限らず。当児に関わる保育者にも質問対応いただけたことが、保育者間の連携をとる点でも良かったです。詳しく教えてください、取り入れやすかった。訪問の際、保育の中での質問に答えていただけ、すぐ実践することができた。																																				
6	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	0	0	センターの目標と園の目標のすり合わせを行ったことで、同じように進められたことで大きく成長が見られた。指導員の方が持つ知識と保育者が持つ知識が合わさって本児の必要な課題に取り込むことができた(特に摂食指導)。																																				
7	事業所からの支援に満足していますか。	4	1	0	当児への対応に迷った時に、次の訪問日に質問ができるといった点が、大変心強かったです。大変満足です。本児の課題に特化した支援の仕方を教えていただき、本児の大きな成長につながったので、大変良かった。																																				
8	支援の前後において、個別支援計画に基づき、お子さんの成長発達の変化を、数値で表すとしたらいくつですか。																																								
	支援前と支援後の比較 (例：支援前1⇒支援後9の場合、数値8)	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9																					
<table border="1"> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>																																1	2			1	1				
											1	2			1	1																									

その他、お気づきの点をご記入ください。(裏面もご活用ください)

A園

1年間ありがとうございました。お子様の困りごとに対して、保育士が見きれていないところまで、見てくださっていたり、行動の理由や原因などをわかりやすく説明いただき、大変参考になりました。また、保護者の方の考えや対応なども、園で話す内容とは違っていたりすることもあり、お子様への支援の方法を考え直す、重要な情報などを共有させていただき、とても助かりました。就学前の大切な時期に、一緒にお子様のことを考えてくださる先生に、園での様子を見ていただけたこと、大変ありがたく思っています。本当にありがとうございました。

B園

年中から年長と、進級時の様子も見ていただき、ありがとうございました。月2回の訪問の為、日が空くことで気づく成長や変化を教えていただけた点が、別視点の意見としても大変貴重でした。そこから当児への対応を見直すこともでき、よかったです。訪問曜日が決まっていた為、行事などの都合で月2回が1回になることもありました。そういった場合は、別日で訪問いただけるなど、回数が減らないといいなと思いました。また、特定の活動のこの部分を見てほしいから、曜日変更ができるといった対応もあると、より良いと思いました。

C園

今回、1歳児のダウン症のおこさんの訪問指導を保護者の方との確認の上、お願いしました。園長はじめ職員もダウン症のおこさんの特性等について十分な知識や技術を持ち合わせていなかったため、離乳食からの摂食時にどのような食べさせ方が望ましいのか話を伺って、実際に取り組みました。約半年ですが、よく口(舌)を動かして食べられるようになり、また運動面でも園が考えていたのと同じ理解の下、アドバイスいただき、本人の意欲も

あって、ハイハイから歩行へと進むことができました。アドバイスを伺うことで、私たちがこれでいいのかと思いながら実践していることの裏付けになり、職員が共通理解の下、保育に取り組むことができ、大変有難かったです。私たち保育者の方とも成長を喜び合うことができています。ありがとうございます。今後また、必要になればぜひお力を貸していただきたいと思います。

#### D園

訪問担当者より、本児に対して、また幼稚園の先生に対しても見守る姿勢の中で適切にご指導ご助言をいただきました。それらはとても有効で、内容について全職員に共有して、より良い環境整備や関わり方、見守り方を模索して、日々の保育を大切にすることができました。

毎月、訪問時に「今日の流れ」と「本児の様子で気になる点」を伝え、観察後に「発達担当者」と「担任」にフィードバックをしていただき、ご助言いただきました。

1年間、見ていただいている中で、本児をとりまく環境（下の子ども）の変化もあり、その動きに変化もあり、その動きに変化や動機があったのですが、そういう時に、適切な指導をいただき、日常の保育が流れる中で、立ち止って本児の動きと内面への（心）洞察へのヒントになりました。

午後の動きが、気になる時には、その時間を見ていただくこともあり、こちらの事情もご理解いただきました。担当の先生に感謝しております。

今後も、センターとの連携を深めることができると、より丁寧な保育ができると思っております。よろしくご指導ください。



公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名 調布市子ども発達センター訪問支援サービス事業所

公表日 令和7年3月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
体制 環境 整備	1	訪問先において、教材教具を使用しましたか。	2へ 1	3へ 4		
	2	訪問先においての教材教具を、具体的にどの様に活用しましたか。また、使用時に工夫した点があれば教えてください。	具体的にご記入ください 園庭にあるキッチンセットを使って立位誘導をした。			
	3	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	給食の食形態について当初は調理師さんもフィードバックに参加した。	
	5	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	6	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3	第三者による外部評価をしていない	児童発達支援については、第三者評価を定期的に行っていますが、保育所等訪問支援は行っていません。今後、第三者評価の必要性を検討していきます。
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1		

9	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い,こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で,保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	1		
10	保育所等訪問支援計画を作成する際には,児童発達支援管理責任者だけでなく,こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で,こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	1ケースについて事業を検討する機会があえて設けられておらず,担当間での話し合いになっている	相談担当が,期の途中で園と連携をとり,ケースに関わる職員が共通認識をもって,支援できるようにしていきます。
11	保育所等訪問支援計画を作成する際には,訪問先施設の担当者等と連携し,訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	5	0		
12	こどもの適応行動の状況を,標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや,行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	・適応行動の状況をフォーマルアセスメントでの確認はしていない。気になる行動チェックリストなど活用するのもよいかと思った。	チェックリスト作成の必要性を検討するとともに,行動観察内での見極め等,評価できるような専門性の維持に努めます。
13	保育所等訪問支援計画には,保育所等訪問支援ガイドラインを踏まえながら,具体的な支援内容が設定されているか。	3	1		
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され,計画に沿った支援が行われているか。	4	1		
15	毎回の支援開始前までに,こどもに携わる職員間で,支援の内容や役割について,共通認識がもてているか。	5	0	細かい報告は難しいが,グループのお子さんであれば,共有する時間あり。	センター内で,事業を利用している場合は,担当間での情報共有をし,支援内容の共通認識を持つように努めます。
16	訪問後には,携わる職員間で振り返りの報告を聞き,気づいた点を共有しているか。	4	1		
17	保育所等訪問支援を実施する際,訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	5	0		
18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し,支援の検証・改善につなげているか。	5	0		

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い,保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し,適切な見直しを行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に,そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	1	2	・ その機会がなかった	必要なケースについては, 相談担当が参画しています。
	21	地域の保健,障害福祉,保育,教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	対象外	
	22	就園・就学時の移行の際には,保育所等や学校との間で,支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	就学移行のタイミングがなかったため, 実施していなかった。	
	23	質の向上を図るため,積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり,職員を外部研修に参加しているか。	3	0		毎年, センター内に外部講師を招いて, 研修を実施しています。引き続き, 研修を開催し, 専門性の維持向上を目指します。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1	・ 事情を把握できていないため未記入	一部職員が, 会議開催や参加をしていますが, 事業所としての取り組みとして, 全職員に周知するよう努めます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い,こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
	26	家族の対応力の向上を図る観点から,家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		
	27	運営規程,利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	28	訪問先施設に対し,事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	5	0		

保護者等への説明等

29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点の踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	0		
31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1	・ひよこグループ（センター内事業）	
33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	1	1		センターの事業として取り組んでいることを、全職員に周知していくよう努めます。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
36	障害のある子どもや、保護者との意思の疎通や情報伝達のための合理的配慮をしているか。	3	0		
37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	先生と話し合いを行っている	
38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	5	0		

訪問先施設

への説明等	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	5	0		
非常時等の対応	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	訪問先でのことか不明のため未記入。	非常時は、園の安全計画に則って行動することや、センター内における安全計画を全職員に改めて周知する必要があります。
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	訪問先でのことか不明のため未記入	非常時は、園の安全計画に則って行動することや、センター内における安全計画を全職員に改めて周知する必要があります。
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	事例がなかったため、実施しなかった。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会に積極的に参加し、適切な対応をしているか。	5	0		
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得ているか。	4	1	事例がなかったため、実施しなかった。	

※「わからない」と回答したものは、「はい」・「いいえ」の数に含んでおりません